

## 授業科目一覧

●：リサーチワーク科目

無印：コースワーク科目

授業科目	単位	備考
上代文学研究	4	☆
中古文学研究	4	☆
中世文学研究	4	☆
近世文学研究	4	☆
近現代文学研究Ⅰ	4	☆
近現代文学研究Ⅱ	4	☆
近現代文学研究Ⅲ	4	☆
日本語史研究	4	☆
現代日本語研究	4	☆
日本語教育学研究Ⅰ	4	☆
日本語教育学研究Ⅱ	4	☆
●日本文学論文演習Ⅰ	4	☆
●日本文学論文演習Ⅱ	4	☆
●日本文学論文演習Ⅲ	4	☆
●日本文学論文演習Ⅳ	4	☆
●日本語学論文演習Ⅰ	4	☆
●日本語学論文演習Ⅱ	4	☆
●日本語教育学論文演習	4	☆

備考：☆印は再履修することができる科目を示す  
本年度に開講する科目についてはシラバス等を参照すること

## 履修要項

## ●単位の修得方法

修了要件単位（30単位以上）は次のように修得する。

- (1) 修了要件単位のうち、20単位以上を左記の本学大学院の日本語日本文学専攻において修得する。
- (2) 残りの10単位以上については、次の科目から修得する（ただし、1科目の単位の一部を分けて算入することはできない）。
  - ① 本学大学院の修士課程および博士前期課程の授業科目（専攻を問わない）
  - ② 本学大学院の日本語日本文学専攻が承認した、委託聴講生制度の協定を結んだ他大学大学院の授業科目

## ●履修方法

日本文学論文演習Ⅰ～Ⅳ、日本語学論文演習Ⅰ～Ⅱ、日本語教育学論文演習は、全年次において履修または再履修できるが、修了要件単位には数えない。

## ●研究指導体制

- (1) 入学後の早い時期に、大学院学生の希望および研究領域と本専攻の専任教員の専門領域を複合的に勘案し、指導教員を決定する。
- (2) 指導教員とともに副指導教員を決定し、複数指導体制とする。
- (3) 大学院学生は、研究全般に関して、適宜指導教員および副指導教員に相談することができる。
- (4) 毎年度、大学院学生は指導教員と相談の上、研究計画を立て、指導教員は「研究指導計画書」を作成して指導する。
- (5) 大学院学生は、指導教員が担当する「論文演習」を履修し定期的に論文執筆指導を受け、修士論文を作成する。
- (6) 修士論文提出年次の大学院学生は「修士論文中間発表会」において発表を行う。これには全専任教員が参加し、質疑応答を通じて指導する。

## ●課程修了の所定単位を修得済みの者が標準修業年限を超えて在学する場合

課程修了の所定単位を修得済みの者は、原則として日本文学論文演習、日本語学論文演習、または、日本語教育学論文演習のいずれかのみ履修することができる。

## 授業科目一覧

●：リサーチワーク科目

無印：コースワーク科目

授業科目	単位	備考
上代文学研究	4	☆
中古文学研究	4	☆
中世文学研究	4	☆
近世文学研究	4	☆
近現代文学研究Ⅰ	4	☆
近現代文学研究Ⅱ	4	☆
近現代文学研究Ⅲ	4	☆
日本語史研究	4	☆
現代日本語研究	4	☆
日本語教育学研究Ⅰ	4	☆
日本語教育学研究Ⅱ	4	☆
●日本文学論文演習Ⅰ	4	☆
●日本文学論文演習Ⅱ	4	☆
●日本文学論文演習Ⅲ	4	☆
●日本文学論文演習Ⅳ	4	☆
●日本語学論文演習Ⅰ	4	☆
●日本語学論文演習Ⅱ	4	☆
●日本語教育学論文演習	4	☆

備考：☆印は再履修することができる科目を示す  
本年度に開講する科目についてはシラバス等を参照すること

## 履修要項

## ●単位の修得方法

修了要件単位（30単位以上）は次のように修得する。

- (1) 修了要件単位のうち、20単位以上を左記の本学大学院の日本語日本文学専攻において修得する。
- (2) 残りの10単位以上については、次の科目から修得する（ただし、1科目の単位の一部を分けて算入することはできない）。
  - ① 本学大学院の修士課程および博士前期課程の授業科目（専攻を問わない）
  - ② 本学大学院の日本語日本文学専攻が承認した、委託聴講生制度の協定を結んだ他大学大学院の授業科目

## ●履修方法

日本文学論文演習Ⅰ～Ⅳ、日本語学論文演習Ⅰ～Ⅱ、日本語教育学論文演習は、全年次において履修または再履修できるが、修了要件単位に算入することが認められるのは、4単位までとする。

## ●研究指導体制

- (1) 入学後の早い時期に、大学院学生の希望および研究領域と本専攻の専任教員の専門領域を複合的に勘案し、指導教員を決定する。
- (2) 指導教員とともに副指導教員を決定し、複数指導体制とする。
- (3) 大学院学生は、研究全般に関して、適宜指導教員および副指導教員に相談することができる。
- (4) 毎年度、大学院学生は指導教員と相談の上、研究計画を立て、指導教員は「研究指導計画書」を作成して指導する。
- (5) 大学院学生は、指導教員が担当する「論文演習」を履修し定期的に論文執筆指導を受け、修士論文を作成する。
- (6) 修士論文提出年次の大学院学生は「修士論文中間発表会」において発表を行う。これには全専任教員が参加し、質疑応答を通じて指導する。

## ●課程修了の所定単位を修得済みの者が標準修業年限を超えて在学する場合

課程修了の所定単位を修得済みの者は、原則として日本文学論文演習、日本語学論文演習、または、日本語教育学論文演習のいずれかのみ履修することができる。